

# 創立 60 周年記念事業

山口師範学校の前身となる山口県教員養成所の開設から、60周年にあたる昭和9(1934)年、当時の金額で総額 3,540 円を投じて、創立60周年の記念式典が挙行された。60年史の刊行や校訓・校歌の制定、運動会など、多彩な行事が行われた。



記念式典で式辞を読む山本昇校長

## 記念行事一覧

10月1日(月)	校歌記念式歌制定
7日(日)	記念運動会
10日(水)	創立60年史完成
16日(火)	慰霊祭
	郷土展覧会(第1日)
17日(水)	創立記念式
	記念祝賀会
	郷土展覧会(第2日)
18日(木)	記念学芸会
	郷土展覧会(第3日)
	校内祝賀会



記念運動会の模様

## 郷土室と郷土展覧会

昭和5(1930)年、文部省は各師範学校に研究奨励費を交付して郷土室の設置を奨励した。これを受けて山口師範学校にも「郷土室」が設置された。郷土資料収集、整理が行われ、郷土の自然や文化の実態を研究・理解する場として利用された。

60周年の際には、記念行事の一つとして郷土展覧会が開かれ、郷土室保管のものを中心に、さまざまな資料が展示された。



(上)郷土展覧会の様子

(右)「賢哲墨蹟屏風」

上司元校長収集のものを記念事業の一つとして師範学校に保存し公開した



## 校訓・校歌の制定

60周年を記念して、山本昇校長により、これまで培われてきた伝統をもとに校訓が制定された。この校訓には戦前の師範教育の中核をなした「師道の錬成」がうたわれ、当時の山口師範学校の教育目標を如実に表したものとなっている。生徒はこれを暗唱し、事あるごとに斉唱したという。

また、校歌も同時に制定された。作歌は輿水淑を中心とする国漢文と音楽科の教師が担当し、作曲は当時多くの校歌を作曲していた信時潔のぶとききよし氏に依頼した。師範学校の伝統や環境から醸し出される教育精神と、防長の歴史地理から発揚する報国観念を盛り込んだものであった。

### 校訓

教育ニ関スル勅語ノ聖旨ヲ奉体シ、敬虔報酬ノ念ヲ培イ、自治協同事ニ当リ、勤勞奉仕ニ努メ、質実剛健ナル精神ヲ養ヒ、之ヲ貫クニ至誠ヲ以テシ、以テ天壤無窮ニ皇運ヲ扶翼シ奉ルコトヲ得ヘキ善良有為ノ国民教育者タラムコトヲ期ス

### 山口師範学校校歌

一、青史をかざる防長二州  
大陸ちかき皇国の要地  
その教育の源泉こそは  
我等が学ぶ山口師範

二、朝日の庭に拜む聖碑  
畏き御勅心にきざみ  
夕照る丘に仰ぐ銅像  
深くも偲ぶ維新の勳

三、師道は振ふ松下の塾に  
天地も動く至誠の教  
士風は薫る乃木の社に  
古今を照らす義烈の鑑

四、嗚呼伝統の精神継ぎて  
大国民の教育興し  
皇運永久に扶翼し奉る  
覚悟は堅し我校健児



祝賀会(「師範学校同窓会誌会報」第19号より)  
予想よりはるかに大勢が集まり、立食になるほどであった